

インディアカ

平成12年3月吉日 発行

さいたま

NO. 7

発行人 埼玉県インディアカ協会会長 秋谷昭治

発行 SIA広報部 宮田紀栄 (幸手市)

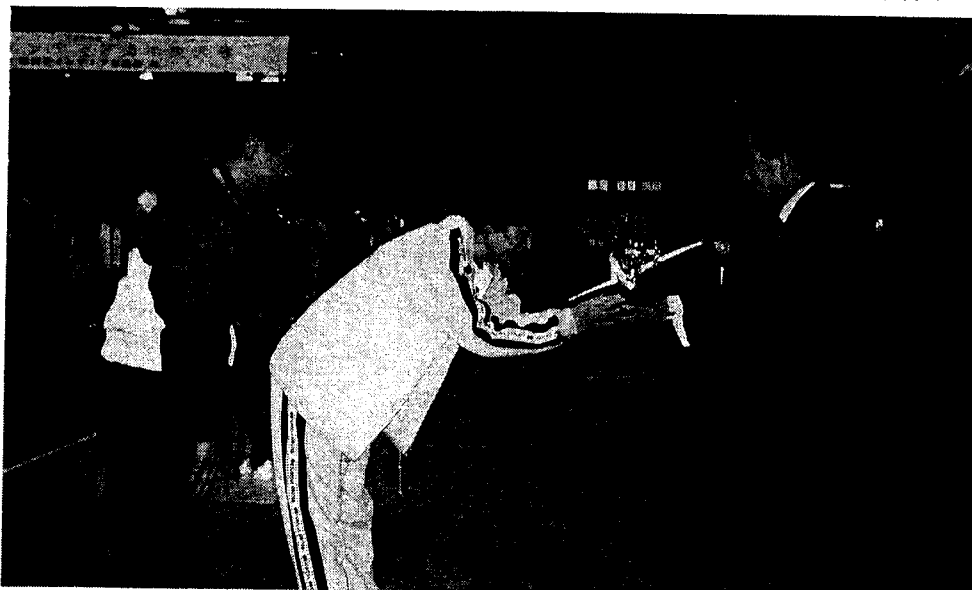
伊藤達郎 (川越市) 白井義数 (大井町) 田口俊雄 (鶴ヶ島市)

玉生一美 (吉川市) 柳田憲夫 (幸手市) 金井塚清子 (三芳町)

会長所感

会員の皆様におかれましては、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私は昨年5月より神保国男前会長よりバトンを受けて埼玉県協会会長に就任いたしました。昭和56年協会発足以来諸事業の充実と組織の拡大を図り発展し、本年は創立20年を迎えることができました。これ一重に関係各位の限りないご尽力の賜と深く敬意を表すものであります。平成11年度の事業も各専門分野におかれまして円滑に運営されておりますので同慶の至りであります。各種大会が盛大に開催され、大勢の方々の競技を拝見させていただきました。平成12年度には第20回埼玉県インディアカ大会、第3回全国シニア大会、第2回埼玉県シニア大会、平成12年度中央大会、ランク別大会、さくら草大会等々が予定されておりますが、すばらしい成果が挙げられるものと期待しております。近年競技人口の減少化がみられておりますが大会運営に新鮮味を出すべく関係者と協議しながらよりよい方向付けに努力していきたいと考えております。審判部においてはルールの一統化を徹底すべく研修会や講習会を各ブロックごとに開催されておりますが継続をお願いしたいと思います。特にお願いしたいのは、7月2日に予定されている全国シニア大会は全国レベルの大会ですので担当の県協会としてはJIAに協力して成功させなければなりません。本年は創立20周年を迎えるに当たり記念式典、記念誌発行等関連して多くの企画が予定されております。協会関係者共々万全を期して平成12年度を全うする所存であります。皆様のご協力を重ねてお願いし所感といたします。

(埼玉県インディアカ協会会長 秋谷昭治)



中央大会を終えて思う

東西南北、各ブロックの予選を経て中央大会に出場した各チーム、さすが各ブロックの代表の試合運び等優れたチームが多く白熱した試合が多く見られました。反面、強いだけでマナーを知らないチームも目につきました。開会式では、後ろの方で固まって話をしている役員の挨拶や注意事項・連絡事項等に対しても聞いていない人が目立ちました。また、試合中に、タオルをかぶって競技する選手、決められた場所以外のところでふらふらしている控え選手、審判の指示に従わないチーム、注意されるとふてくされて試合をするチーム等、ブロックの代表としてはあまりにもマナーの悪さが目立ったチームがありました。思い当たる人は自分自身で直して欲しい。あまりエスカレートしないで、他のチームとの交流を図って仲間を増やしてください。これからも、生涯スポーツインディアカの愛好者を増やして大いに楽しんで欲しいと思います。

[一言] 大会運営については現在のままでよいのだろうか？

ここ数年、閉会式が午後6時を過ぎています。競技者のレベルの向上は分かりますが、せめて午後5時には閉会式が終わるように考えて欲しいですね。(田口)

平成11年度 埼玉県インディアカ中央大会 優勝チーム紹介

一般女子 (ザイーズ3年B組; 岩槻市)



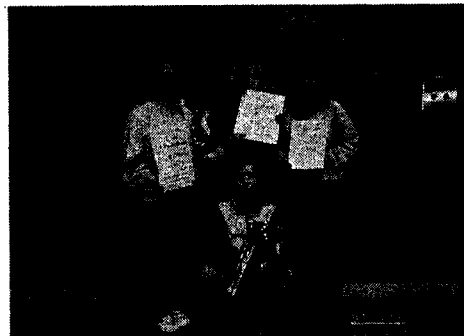
一般男子 (グリーンジャイアント; 三郷市)



一般混合 (ザイーズ3年C組; 岩槻市)



シニア女子 (庄和インディアカ; 庄和町)



シニア混合 (ジョーズ; 秩父市)



Congratulations!

第19回埼玉県インディアカ大会(7/11(日) 幸手市 アスカル幸手)



昨年7月11日は暑い1日。アスカル幸手において大会が開催されました。県内各地より138チーム、約700名が参加し、暑い体育館の中、各コートに熱戦が繰り広げられました。試合の後のロビーの冷気が体に心地良さを与えてくれました。誰でも楽しめるインディアカ、これほど楽しいスポーツはありません。また、これから県内各地で開催されます各種大会に多くの人たちが参加していただきたいと思います。大会本部役員、幸手市協会の方々に感謝いたしまして、次の大会にバトンタッチを致します。(柳田)

第1回シニア大会(9/23(木・祝) 岩槻市 槻の森アリーナ)



今年度より新しく「シニア大会」が行われることになり、年齢制限が女子40歳以上・男子45歳以上、75チームの参加で比較的ゆったりとした流れの中でしたが盛大に行われました。シニア大会ができたことで年齢でリタイヤする人、そしてインディアカ人口減に歯止めがかかったかなあと、来年を楽しみにしています。参加チームより今後についてのアンケートをいただきました。結果、一番多い数字を紹介します。

1. 年齢制限 同じでよい 58%
2. 試合形式 サイドアウト制がよい 64%
3. 試合数 3試合以上がよい 98% (白井)

第12回全国スポーツレクリエーション祭(10/17-18 山形県)



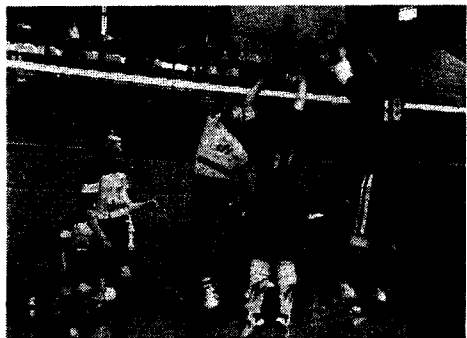
生涯スポーツの祭典「スポレクやまがた99」のインディアカ競技に、埼玉県を代表して松伏町インディアカ連盟が参加されました。同連盟の庄子理事長から「全国スポレク祭を終えて」と題するレポートが提出されましたので、その成果の一部を紹介いたします。

庄子氏は、イベントを通じて感心したこととして、①会場内外のスタッフが笑顔で生き生きしていたこと、②スタッフに支えられて選手間の交流ができたこと、③誰もが楽しめるインディアカを推進している姿が素晴らしかったことをあげています。

特に、地元山形から参加の「選手全員が聴力障害者というチーム」を紹介し、主審の横で赤い旗を振り笛の合図を送る人、ベンチで手話通訳をする人、障害を乗り越えてインディアカを追う選手、いいプレイには拍手ではなく大きなボディアクションで応える相手チーム、「会場に集まった人たちの心配りが一番のおみやげだった」と結んでいます。

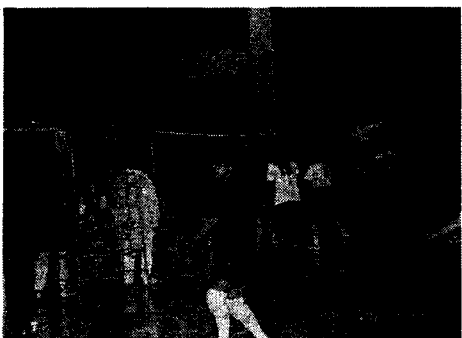
次のスポレク祭にはあなたのチームが参加してみたいかでしょうか。(玉生)

第7回ランク別大会(1/16(日)) 桶川市 サン・アリーナ



チャンピオンシップもY2Kも関係なし、めでたく新千年紀を迎えて初めての県インディアカ大会。正月気分もさめやらぬ最中、和やかな雰囲気の下に「ランク別大会」が開催され、熱戦が繰り広げられました。本大会に照準を合わせて練習を積み重ねてきたチームや休み明け休養十分のチームなど118チームが参加されました。ラリーポイント制25点(女子)21点(男子・混合)先取1セットのみ、各チームがそれぞれ4試合を楽しみました。「真剣な中にも笑顔あり」楽しむインディアカを地で行くような大会ではなかったかと思えます。(玉生)

第1回さくら草大会(2/27(日)) 富士見市 市民総合体育館



「冬季大会」から「さくら草大会」の名称に変わり初めての大会が、さわやかな交流宣言から始まり、試合形式もサイドアウト制、20分間1セットマッチ、10分でコートチェンジ、1チーム5試合という初めての試みで72チームが熱戦を繰り広げました。最初は時間が気になり不安そうでしたが、次第に慣れスムーズに進行できるようになりました。感想を聞いてみますと、ロスタイムがなく、いろいろなチームと交流ができ、終了時間も明確なのでとても良い方法と好評を得ました。これからもよりよい方法を模索しながら、ますます盛り上がる大会になることを願っています。(金井塚)

平成12年度事業予定

- 5月13日(土) 第20回通常総会(大宮市)
- 5月14日(日) 普及審判員認定講習会(所沢市)
- 5月28日(日) 県レク大会(鶴ヶ島市)
- 6月11日(日) さくら草大会(深谷市)
- 6月24・25日(土・日) 指導審判員研修会(伊奈町)
- 7月2日(日) JIA 第3回全国シニア大会(川越市)
- 9月10日(日) JIA フレンドシップ大会(東京都)
- 9月15日(金・祝) 第2回シニア大会(桶川市)
- 10月29日(日) 普及審判員認定講習会(宮代町)
- 11月23日(木) 中央大会(桶川市)
- 12月10日(日) ランク別大会(吉見町)
- 1月27・28日(土・日) 第20回埼玉県インディアカ大会・20周年記念大会(桶川市)
- 2月18日(日) 20周年記念式典(大宮市)

東西南北ブロックだより

北部ブロック長(秩父市・黒沢一正)

北部では親睦試合を2回行いました。その中で、会員が少ない北部では1月の大会に熊谷市花園町から初めて参加してもらいました。まだ参加チームは少ないけれど、協会ができることを願っています。

秩父協会では初めて初心者大会を開催しました。この大会は多くの人にインディアカにふれてもらい、楽しさを知っていただき会員数が増えてもらえたらと思っています。

小鹿野町では第2回のシニア大会を開催しました。シニアに触れてみると50歳以上の試合をしたらどうか。なぜならば力の差がありすぎ、試合を楽しめない傾向に見えたからです。そのため協会から退いていく人もいます。皆さんのところではどうですか？

インディアカはいつまでも楽しみたいスポーツにしたいです。

東部ブロック長(岩槻市・篠村英利)

当ブロック会の主な活動は、12市町より2名ずつの理事の方々と、年に大会を2つ(東部ブロック大会、レクリエーション大会)と、指導審判員のご協力とご指導の下、S Jを対象とした審判研修会を2回行っております。

東部大会は今年度より、蓮田市のご協力により蓮田パルシーで開催するようになりました。レク大会は各市町持ち回りで、担当市町のアピールを兼ね、また、誰でもが参加できる大会を目標としています。昨年より行っている年齢別大会は、試合から遠ざかっていた方達にも楽しんでいただき、なかなかの好評を博しております。審判研修会においては毎回120名以上の受講者があり、審判技術の向上を目指し、常に前向きに取り組んでいます。今後も、皆様のご協力の下、東部ブロック発展のため、全力を尽くしたいと思います。

西部ブロック長(天井町・白井義教)

”インディアカで遊ぼう”

9月30日午後6時30分より川越市立第一小学校体育館で、この体育館の利用団体であるママさんバレー、フォークダンス、少林寺拳法、ミニバスケット、新体操、校庭利用の少年サッカーのお母さん達、それに校長先生始め多数の先生、育成会の役員さん達と”インディアカで遊ぼう”という催しを行いました。インディアカは初めての人たちの集いのため、ワイワイガヤガヤと大変賑やかで笑い一杯の楽しい二時間半でした。

校長先生、育成会の会長さん、次の日、体のあちこちが痛かったと思います。ご苦労様でした。

インディアカもこのように、他団体の人たちとの交流をするのも地元のレクリエーション活動としてよいのではないかと思います。

(川越市 伊藤達郎)

南部ブロック長(蒲和市・小山 高)

当ブロックは、創立最古参の戸田協会を筆頭に平成10年県協会加盟の北本連盟まで、10市の協会連盟で構成されています。加藤会長始め野口・江村・代田・中村・大野各氏と各協会連盟役員で、年次総会・役員懇親会・県大会送出南部大会・ふれあい南部大会を実施し、ブロック内の会員相互のコミュニケーションを図っています。

3年前、県協会ブロック制導入と同時に特色のある活動をして欲しいとの要望がありました。しかしながら、県協会主催の大会への参加・各協会連盟のスケジュールを最優先に考え、とり立て目新しい活動はせず従来の踏襲で済ませてきました。今後はブロック役員会員の意向を集約しつつ、ハードルの高い県協会の要望に少しでも近づくべく努力を惜しまないつもりです。

今後ともご助言ご指導をよろしくお願ひ申しあげます。

指導審判員紹介

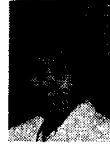
東部



鶴見きみ
(春日部市)



宮田紀栄
(幸手市)



青木和枝
(庄和町)



太田 強
(宮代町)



三石 勝
(白岡町)



小沢孝一
(岩槻市)



柳田憲夫
(幸手市)



先崎正夫
(三郷市)



坂口 進
(岩槻市)



玉生一美
(吉川市)



清水栄一
(松伏町)



大久保光則
(白岡市)



斉藤淑子
(吉川市)

西部



高橋貴名
(上福岡市)



伊藤達郎
(川越市)



須藤和一郎
(東松山市)



茂木儀三郎
(富士見市)



白井義教
(大井町)



田口俊雄
(鶴ヶ島市)



箕輪兼子
(富士見市)



伊藤文字子
(上福岡市)



浅野都子
(日高市)



栗原一雄
(坂戸市)



矢尾板勲
(入間市)



内野法夫
(吉見町)



金井塚清子
(三芳町)



菊地世志美
(入間市)

南部



山谷平三
(戸田市)



江村文男
(戸田市)



大野倉次
(戸田市)



中村正武
(桶川市)



代田幸子
(大宮市)



小野寺幸子
(鳩ヶ谷市)



五十嵐権吉
(浦和市)



相馬誠一
(桶川市)



稲葉寿子
(大宮市)



藤原敏彦
(川口市)

北部



北美枝子
(秩父市)



鈴木洋子
(上里町)



倉林彰子
(秩父市)



黒田春子
(上里町)

埼玉県インディアカ協会創立20周年記念行事

昭和56年4月に県協会が発足してから20年を迎えます。これを記念して各種行事を計画しております。皆様奮ってご参加いただくようお願い申し上げます。

1. 記念誌実行委員会・・・「創立20年のあゆみ」(仮題)を1,000部発行予定。式典参加者や協会加盟団体などに配布予定。ご協力をお願いします。
2. 大会実行委員会・・・平成13年1月27日(16面)・28日(12面)の両日にかけて桶川サンアリーナにおいて記念大会を実施予定。県内会員のみ。種目等についてアンケート調査予定。奮ってのご参加をお願いします。
3. 式典実行委員会・・・平成13年2月18日大宮ソニックシティにて記念式典を開催予定。約400名の参加を予定。午前中に1時間30分程度式典,引き続き2時間程度のパーティを予定。ご意見があればお寄せ願います。